

2025年度

ニチイキッズ大津京町保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月14日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの発想やつぶやきを拾い上げ、その思いに寄り添えるような「手作り玩具」の製作等で遊びをより広げることができたと思う。「もっとやりたい」という子どもの思いを大切に、子ども自身が満足するまでおもいっきり遊び込めるように環境を整え、保育者も援助を行うことができた。
子どもの発達援助	一人ひとりの思いや発達段階、興味・意欲を丁寧に観察し、個々に寄り添った援助を行った。またその時々での成長段階に合わせ、室内環境や玩具の構成をタイムリーに変更することで、子どもが主体的に遊べる環境作りができた。
保護者に対する支援	毎日の玄関口での対応をなるべく担任が行うことで、日常の様子を細やかに伝えることができた。また、希望されれば個人面談を行い、子どもの育ちを共有し、共感することで子育てへの不安を解消していただけた。 行事も年間通じて保護者に参加していただける内容を開催できたと思う。
保育を支える組織的基盤	社内研修などの様々な研修に参加し、保育士がそれぞれに学びを深めることができた。中でも自治体の研修には意欲的に参加し、時事に合わせた内容を学び、知識を深めることができたと思う。

総評
<p>昨年度から力を入れてきた室内の環境構成については、今年度も保育者が各年齢に合わせた手作り玩具や子どもの動きを予想した環境構成を、常に考え、変化させていくことで子どもたちの発達につながったと思う。また、戸外の遊びでは、身体をたくさん動かせるよう、気候や天気合わせた公園を選ぶことで、「おもいっきり遊ぶ」経験につながられた。</p> <p>園行事については、祖父母にも見ていただけるような機会を作り、保護者だけでなく、様々な家族に愛されていること、見守られていることを子どもも実感できるような機会を設けることができた。</p> <p>食育活動では夏野菜の栽培・収穫やホットプレートを使って自分で作る、また買い物に行き材料を揃えるなど、様々な経験を重ねることで、食への興味や関心を広げることができた。</p> <p>今後も子どもたちの育ちをしっかりと見つめ、寄り添っていけるように、研修などで保育者の学びを深めていき、全員で共有していけるようにしたい。</p>